

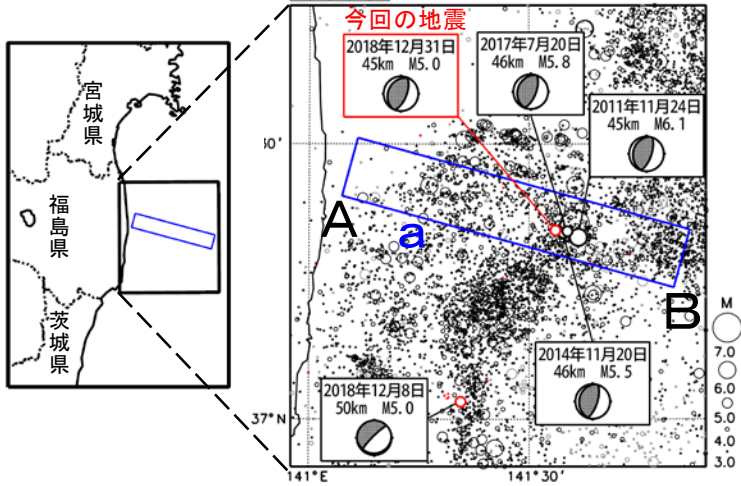
# 12月31日 福島県沖の地震

震央分布図

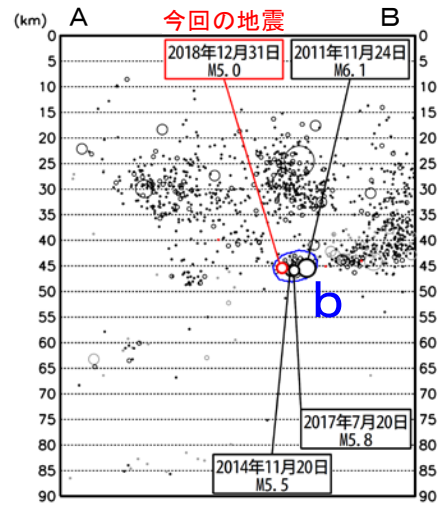
(1997年10月1日～2018年12月31日、  
深さ0～90km、 $M \geq 3.0$ )

2011年3月10日以前に発生した地震を○、  
2011年3月11日以降に発生した地震を○、  
2018年12月に発生した地震を○で表示

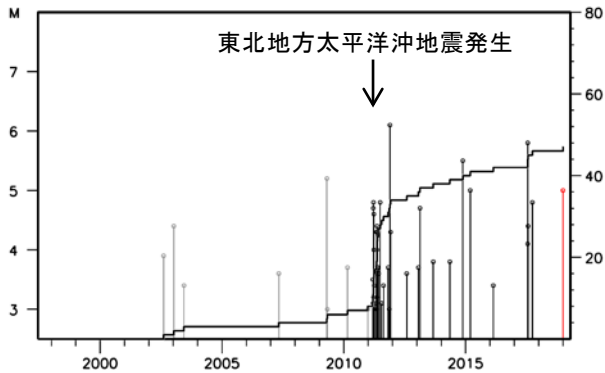
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



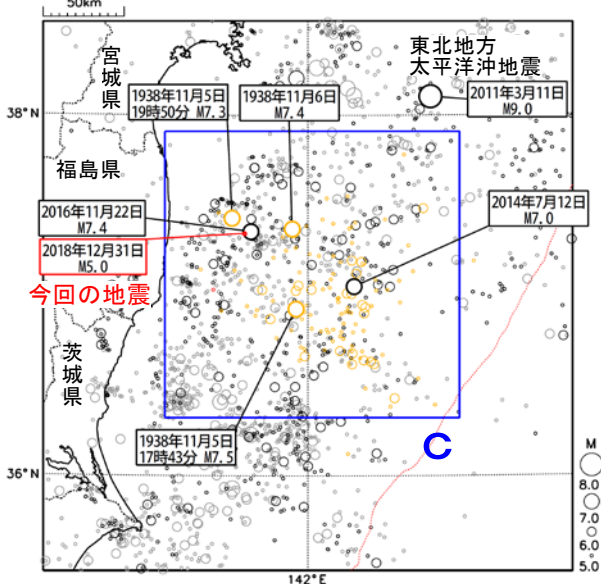
2018年12月31日23時10分に福島県沖の深さ45kmでM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化し、M5.0以上の地震が5回発生している。

震央分布図

(1923年1月1日～2018年12月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ )

1938年11月5日～11月30日に発生した地震を○、  
2011年3月11日～2018年11月30日に発生した地震を○、  
2018年12月に発生した地震を○、これら以外を○で表示



1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震 (最大震度5) が発生した。この地震により、宮城県花洲で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、福島県沖で地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が26回発生し、この内7回は津波を観測した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

